

## 規則正しい登校

保護者の皆様へのご案内



ご存知ですか？ 1学期平均わずか8日間欠席しただけで、プライマリースクール修了の時点で1年分の遅れが生じます。

なぜ、子供を学校に行かせる必要があるのでしょうか？

NSW州は、義務教育の制度を採用しています。この制度により、6歳から義務教育終了年齢までの児童生徒はすべて、法的に学校への通学を義務付けられています。

2010年から、NSW州のすべての生徒はYear 10の修了まで通学することが義務付けられます。Year 10の修了後、生徒は17歳になるまで以下のいずれかに該当する必要があります：

1. 引き続き学校で教育を受ける、またはホームスクーリングに登録して学習する、または
2. 公認の教育・訓練機関（例：TAFE、研修・見習制度等）に通う、または
3. 常勤かつ有給の雇用（週平均25時間）または仕事と教育・訓練の組み合わせに従事する。

学校長には、生徒の出席状況を正確に記録する法的責任があります。

学校長にはまた、提出された欠席理由が正当であるかどうかを判断する責任もあります。

このため、児童生徒の欠席が長期にわたる場合や頻繁に見られる場合、学校長は医師の診断書またはその他の文書の提示を求める場合があります。

保護者の説明が不十分であると学校長が判断した場合、かかる児童生徒は正当な理由なく欠席たと記録されることとなります。

New South Wales Department of Education and Trainingは、義務教育の学齢期にあたる児童生徒が正当な理由なく欠席を重ねる場合、その保護者を起訴する場合があります。

子供は毎日学校に行かせなければいけませんか？

はい。毎日の登校は、入学の条件の一つとなっています。

以下の場合、ごく短期間に限り欠席することが正当とみなされます：

- 特別な宗教上の儀式に参列しなければならない場合
- 重大かつ／または緊急を要する家庭の事情が生じた場合（例：葬儀など）
- 感染症またはその他の病気にかかっている場合

特にプライマリースクールにおいて、アタマジラミの感染が流行る場合があります。お子様の頭髪を常に点検し、卵またはシラミが見つかった場合はていねいに駆除してください。

アタマジラミとその駆除方法に関する情報（翻訳版）は、下記のウェブサイトをご参照いただくことができます：

<https://www.det.nsw.edu.au/languagesupport/documents/headlice/infosheet.htm>

NSW政府保健機関（NSW Health）は、アタマジラミの感染を理由に児童生徒を欠席または早退させる必要はないという見解を示しています。このため、アタマジラミは学校を長期にわたり欠席する正当な理由にはなりません。

なぜ、規則正しい登校が大切なのでしょうか？

規則正しい登校は、児童生徒の潜在的能力の育成に大変重要な役割を担っています。

毎日の登校は学習を容易にし、また他の児童生徒との交流を促進します。

低学年のうちに基礎学力を身につけられなかった児童生徒は、後の学習に支障を来す場合があります。

なぜ、時間通りに登校することが大切なのでしょうか？

時間通りに登校し、授業に出席することは以下のような利点をもたらします：

- 通常、児童生徒が一日で最も集中できるのは午前中で、しばしばこの時間帯に重要な学習活動が設定されています。

- 時間厳守および規則正しい学習の重要性に対する児童生徒の理解を育みます。
- 授業の開始前に級友と挨拶することができます。
- このため、私語による授業への悪影響を抑えることができます。

授業への遅刻は「部分的な」欠席として扱われるため、丸一日の欠席と同様、学校に理由を説明する必要があります。

## 学期中に家族全員が休暇を過ごすことになった場合は、どうすれば良いのでしょうか？

特別な事情がない限り、家族休暇のためにお子様を欠席させることのないよう努めてください。家族ぐるみの休暇は、できる限りスクールホリデー中に行うよう計画してください。

やむを得ない事情により学期中に家族ぐるみの休暇をとる必要が生じた場合、事前に学校長に通知のうえ、休学および／または一定期間の就学免除をご要請ください。

状況および休学期間の長さに応じて、学校はお様が休暇中に取り組める課題を提供することもできますので、ご希望の方はお問い合わせください。

## 児童生徒は、毎日の保健体育およびスポーツ活動に参加しなければなりませんか？

**はい。**スポーツその他の保健体育活動は児童生徒の健康維持に重要な役割を担っています。すべての児童生徒は、スポーツを含むすべての正規の学校活動に参加することが求められています。

## 下記のような理由でお子様を休ませないで下さい：

- 誕生日
- 買い物
- 他の子供の世話
- 定期健康診断または散髪
- ささいな家族行事
- 寝坊

緊急の場合を除き、お子様の医療・保健関係の診断または面談は、学校の始業前または放課後、あるいはスクールホリデー中に行うようご予約ください。

## 子供が授業を欠席しなければならない場合は、どうすれば良いのでしょうか？

やむを得ない理由によりお子様が授業を欠席しなければならない場合は、以下のい

ずれかの方法により学校へご連絡になり、欠席理由をお伝えください：

- 学校に手紙、ファックスまたはEメールを送付する。
- 学校に電話する。
- 直接学校を訪ねる。

保護者は、すべての欠席について学校に理由をご説明いただく必要があります。二ヶ国語で記載された欠席届および就学義務についての詳細は、当省の下記ウェブサイト内“School Attendance (就学)”の項目よりお求めいただけます。

[https://www.det.nsw.edu.au/languagesupport/documents/index\\_s.htm](https://www.det.nsw.edu.au/languagesupport/documents/index_s.htm)

学校長は、児童生徒の欠席許可を求める保護者の要請に対し、質問を行う権利を有しています。

学校長はまた、提出された欠席理由の説明に対して質問を行うこともできます。

## 子供が学校に行きたがらない場合はどうすれば良いのでしょうか？

学校長まで早急にご連絡ください。できる限りご相談にのり、問題解決に向けてご協力いたします。学校長は状況に応じて、ホーム・スクール・リエゾン・オフィサーと呼ばれる連絡担当官のサポートを求める場合があります。

## ホーム・スクール・リエゾン・オフィサーとは誰ですか？

ホーム・スクール・リエゾン・オフィサーは、児童生徒の登校について保護者の方々を援助できるよう特別に訓練された連絡担当官です。アボリジニの児童生徒を対象とした、アボリジナル・スチューデント・リエゾン・オフィサーも設置されています。

これらの担当官は、すべての生徒による規則的な登校の促進を目的に、保護者の方々および学校関係者に支援を提供します。

ホーム・スクール・リエゾン・プログラムについて詳細をお求めの方は、最寄りの教育・訓練省地域事務所のプログラム担当者までお問合せください。連絡先電話番号をお求めの方は、ウェブサイト：[www.det.nsw.edu.au/contactus/index.htm](http://www.det.nsw.edu.au/contactus/index.htm) をご覧になるか、131 536までお電話ください。

## 以下のような理由により、お子様が学校に行きたがらない場合がありますか？

- 朝、起きるのが苦手。
- 登校前夜になかなか寝ようとしなない。

- 登校直前に、衣服、教科書、宿題、かばんなどが見つからない。
- 昼食が準備できていない。
- 朝食をとるのに時間がかかる。
- 宿題ができていない。
- 登校前夜に遅くまで、または朝、登校直前までだらだらテレビを見ている。
- 学校で試験または発表会がある。
- 誕生日。
- 泣いたり大声をあげて保護者から離れようとしなない。

## こうした問題の数々は、以下のような対策を規則的に行うことで解決できる場合があります：

- 起床時刻を決める。
- 就寝時刻を決める。
- 登校前夜に制服とかばんを準備しておく。
- 前夜のうちに昼食を作っておく。
- 朝食を食べ始める／食べ終わる時刻を決めておく。毎朝規則的に行うことが大切。
- 毎日、宿題をする時刻を決めておく。
- 決められた時間／適切な場合にのみテレビをつける。
- 確固たる態度で臨む。登校は義務であることを理解させる。
- 前向きな励ましを何度も与える。
- 確固たる態度で臨む。誕生日は休日でないことを理解させる。
- 登校時刻のベルが鳴る直前に学校へ到着し、到着後は速やかに立ち去るよう努める。事前に手配が可能な場合は、立ち去る前に児童の手を教員につなげる。

## 通訳が必要ですか？

英会話を苦手とされる方々、および手話をご使用になる難聴の保護者の方々には、可能な限り通訳サービスが提供されます。このサービスについて詳細をご希望の方は、学校に直接お問い合わせください。学校までお電話の際に通訳をご必要とされる場合は、電話通訳サービス (Tel: 131 450) にお電話になり、ご記号の言語をご指定ください。通訳者が学校に電話をかけ、そのまま電話を介して会話をお手伝いします。なお、同サービスは無料です。